

**約900kmの距離を越えて育んだ友情**

兄弟都市との交流事業「少年の翼」で、沖縄県中城村の子どもたちが1月30日から3日間来町し、町の子どもたちと交流しました。滞在中は大分県まで足を伸ばして雪遊びをしたり、夜は町内の児童宅にホームステイするなど絆を深化。夏冬の交流を通して、両町村の子どもたちは確かな友情を育んでいました。



↑ 福智町の子どもたち13人に拍手で出迎えられた中城村の子どもたち11人。

↓ 小倉城「しろテラス」やアクロス福岡、八女伝統工芸館でもお猪口を販売。



**第19回 上野焼バレンタイン猪口展**  
それぞれの思いを陶器で伝える猪口展

「上野焼バレンタイン猪口展」が2月1日から14日まで上野焼陶芸館で行われました。8窯元は計400点の定番のハート型や今年の干支(午)をあしらったオシャレで個性的な猪口(チョコ)を販売。大切な人や自分への贈り物として、世界に一つだけのお猪口(チョコ)を求めて、町内外から多くの人を訪れました。

**基礎 男性料理教室 初級編**  
基礎を学び広げた食の知識と関心

初級者向けの「男性料理教室」が、1月26日に金田保健センターで行われました。参加者17人は、「鮭フライわさびのタルタルソース」、「キャベツの白和え」、「なめこの味噌汁」の3品を調理。参加者たちは、食進会7人の丁寧な指導で基礎的な調理や知って得する食の知識を学び、有意義な時間を過ごしました。



↑ 食生活改善推進委員会長の門口さんが参加者たちへ豆腐の切り方などを指導。

↓ 今後は「チロルチョコ」の要素を省いた類似デザインの角皿が販売される予定。



**あ** チロルチョコ × 上野焼・守窯  
あの有名なチョコと上野焼が夢のコラボ

筑豊銘菓「チロルチョコ」と上野焼窯元「守窯」が特別コラボした、18種の角皿が28枚限定で販売されました。“チロルチョコの世界感”と“上野焼の魅力”が見事に調和した角皿は、即完売になる大反響。製作した熊谷光さん、眞春さん姉妹は「食器やインテリアとして長く使ってもらえたら」と甘い笑顔を浮かべました。

↓ 福岡さん(写真⑤)と石光さん(写真⑥)はソフトバンクが設立した「福岡玄界灘ボーイズ」に入団予定。



**若** NPBジュニアトーナメント2025  
鷹2人が全国で大活躍

NPB12球団ジュニアトーナメントが12月26日～29日に明治神宮野球場で行われ、福岡ソフトバンクホークスジュニアが準優勝に輝きました。今大会に金田ジュニアクラブの石光奏都さん(6年生)と福岡煌汰郎さん(6年生)がチームの一員として出場し、両者共に持ち前のピッチングと守備力を活かしチームの勝利に大きく貢献。石光さんは優秀選手にも選ばれました。

**人** 方城中「郷土料理」授業  
人と人がつなぐ食の伝統を未来へ

近年、食生活の変化で味の継承が課題となっている「郷土料理」。その魅力を伝える授業が方城中で開かれました。授業に参加した2年生は1月29日に町調理師と栄養教諭による講義を受けた後、2月5日に「方城すいとん」を調理。町食進会メンバーが指導を行い、未来を担う子どもたちへ伝統の味を受け継いでいました。



↑ 町食進会4人による指導の元、2年生49人が「方城すいとん」づくりに挑戦。

↓ 今回、西日本新聞社賞を受賞した作品「私のルーク」を眺める来場者たち。



**子** 第36回 MOA美術館田川児童作品展  
子どもたちの感性と成長が輝いた展示会

「第36回 MOA美術館田川児童作品展」に入賞・入選した町内に住む子どもたちの作品を1月21日～26日の間、ふくちのちで展示しました。子どもたちが興味や関心をもったことを豊かな感性と鮮やかなタッチで描いた作品32点を展示。来場者は、児童たちの作品とそこに込められた思いに心温まるひと時を過ごしました。